

佐々木 肇 教授略歴

生年月日 昭和9年3月9日

本籍地 宮城県

出生地 新潟県

学 歴

昭和32年3月 新潟大学人文学部人文科学科卒業
昭和35年3月 東北大学大学院文学研究科修士課程（英語英文学専攻）修了
昭和38年3月 東北大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
昭和38年8月 アメリカ合衆国ペンシルベニア大学大学院留学（フルブライト全額給費大学院生）[昭和39年7月まで]

学 位

文学修士 昭和35年3月 東北大学

職 歴

昭和38年4月 東北大学川内分校講師（英語）
〃 39年4月 東北大学教養部講師（英語）
〃 42年3月 同 助教授（英語）
〃 47年8月 アメリカ学術会議協議会特別研究員としてアメリカ合衆国アマースト大学へ出張 [昭和48年10月まで]
〃 51年7月 国際教育交換協議会奨学金でアメリカ合衆国ボストン大学で研修 [昭和51年8月まで]
〃 52年4月 東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当 [昭和53年3月まで]
〃 56年4月 東北大学教養部教授（英語）
〃 東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当 [昭和57年3月まで]
〃 57年8月 アメリカ学術会議協議会ならびにフルブライト計画特別研究員として、アメリカ合衆国シラキュース大学へ出張 [昭和58年4月まで]
〃 60年4月 東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当 [昭和61年3月まで]
〃 61年7月 国際教育交換協議会奨学金他で、アメリカ合衆国カリフォルニア大学デービス校、シラキュース大学、マウント・ホリヨーク大学で研修 [昭和61年9月まで]
〃 63年8月 日米友好基金により、アメリカ合衆国ノース・カロライナ大学チャペル・ヒル校にて、アメリカ史ならびにアメリカ文化について研究・調査 [平成元年8月まで]
平成5年4月 東北大学大学院国際文化研究科教授（アメリカ研究講座）[平成9年3月まで]
〃 東北大学大学院国際文化研究科長・評議員 [平成7年3月まで]
〃 9年4月 弘前大学教育学部教授 [平成10年3月まで]
〃 10年4月 岩手県立大学盛岡短期大学部教授・国際文化学科長 [現在に至る]

学会ならびに社会における活動

昭和35年4月 日本英文学会会員 [現在に至る]
〃 45年4月 日本アメリカ文学会会員（本部編集委員 平成2年4月～平成11年3月）[現在に至る]
〃 49年4月 アメリカ学会会員（評議員 昭和55年4月～平成4年3月；平成7年7月～平成8年5月；常任理事 平成6年4月～平成7年6月；理事 平成8年6月～平成10年5月）[現在に至る]

- 〃 52年5月 教科書検定調査審議会調査員 [昭和53年3月まで]
- 〃 56年6月 東北アメリカ学会事務局長 [平成3年6月まで]
- 〃 57年6月 ガリオア・フルブライト東北同窓会委員会委員 [現在に至る]
- 平成3年7月 東北アメリカ学会委員会委員長 [平成6年5月まで]
- 〃 6年6月 東北アメリカ学会会長 [平成9年5月まで]
- 〃 〃 東北大学国際文化学会会長 [平成9年6月まで]
- 〃 11年4月 日本アメリカ文学会東北支部支部長 [平成15年3月まで]

著 作 目 録

1. 著 書

共 著

- | | | | |
|--|-------|------------|---------|
| 『概説アメリカ文学史』
(共編者 横沢四郎、阿部 宏、阿野文朗、
佐々木肇、浜野成生、他共同執筆者16名) (439頁) | 金星堂 | (2～16頁) | 昭和56年1月 |
| 『アメリカ文学の新展開・小説』
(尾形敏彦編、共同執筆者 佐渡谷重信、浜本武雄、
別府恵子、橋口保夫、岩元巖、繁尾 久他14名) (全668頁) | 山口書店 | (225～248頁) | 昭和58年7月 |
| 『バーナード・マラマッド研究』
佐渡谷重信編、共同執筆者 安藤正瑛、片山 厚、
今村楯夫他5名) (全264頁) | 泰文堂 | (190～202頁) | 昭和62年6月 |
| 『リーダーズ・プラス』(辞典)(編集・共著)(全2855頁) | 研究社 | | 平成6年6月 |
| 『カタカナ語の泉』
(共同執筆者 小田 基、渡部治雄他4名) | 河北新報社 | (全550頁) | 平成10年2月 |
| 『リーダーズ英和辞典 第2版』
(編集・共著) | 研究社 | (全2904頁) | 平成11年5月 |
| 『リーダーズ英和中辞典』(編集参与・共著) | 研究社 | (全2025頁) | 平成12年5月 |

2. 論 文

- | | | |
|---|----------------------------------|---------|
| Prince of AragonからIagoまで | 「英文学会誌」第8号
(新潟大学英文学会) (8～21頁) | 昭和36年7月 |
| <i>The Spanish Curate</i> 試論 | 「英文学会誌」第9号
(新潟大学英文学会) (1～4頁) | 昭和37年6月 |
| Shakespeare劇における 'Spanish Melancholy' の一考察 | 「試論」第4集 (53～67頁) | 昭和37年7月 |
| Cooper's Social and Political Philosophy in <i>The Pioneers</i> | 「東北大学教養部紀要」3号
(172～165頁) | 昭和41年1月 |

<i>A Passage to India</i> における E. M. Foster の社会批評	「英文学会誌」第13号 (新潟大学英文学会) (19～33頁)	昭和41年6月
Washington Irving as a Dramatist	「東北大学教養部紀要」6号 (127～145頁)	昭和42年3月
アメリカにおける文学意識の目ざめ	「英文学会誌」第15号 (新潟大学英文学会) (23～33頁)	昭和43年6月
アメリカにおける国民文学意識の成立 (その一)ーアメリカン・ロマンティシズムへの道	「文化」36巻1、2号 (126～142頁)	昭和47年8月
Solyman Brown の文学論	「英文学会誌」第17号 (新潟大学英文学会) (29～38頁)	昭和47年12月
<i>Tamburlaine</i> と <i>Alphonsus</i>	「試論」第11集 (44～61頁)	昭和48年8月
Chaim Potok : <i>My Name Is Asher Lev</i> ー 内の世界が外の世界と接する時	「東北大学教養部紀要」24号 (65～89頁)	昭和51年2月
Philip Roth : <i>Goodbye, Columbus</i> ー 夏の情事	「アメリカ小説研究」8号 (28～50頁)	昭和52年5月
Israel Zangwill : <i>The Melting Pot</i> における Jewish Consciousness について	「東北アメリカ文学研究」1号 (18～34頁)	昭和52年11月
The Significance of the False Endings in <i>The Tenants</i>	「東北大学教養部紀要」28号 (165～148頁)	昭和53年2月
Humboldt's "Gift"	「東北大学教養部紀要」32号 (60～78頁)	昭和54年12月
William Styron : <i>Sophie's Choice</i> における「選択」 の意味	「東北大学教養部紀要」36号 (173～196頁)	昭和56年12月
Bernard Malamud の <i>Dubin's Lives</i> における季節	『英文学試論』 村岡勇先生喜寿記念論集 (全439頁) (金星堂) (379～392頁)	昭和58年6月
マイノリティの文学ーゲッターの小説を中心に	「英語青年」130巻1号 (14～15頁)	昭和59年4月
Delmore Schwartz における歴史的感覚	「東北大学教養部紀要」42号 (22～42頁)	昭和59年12月
ラドウィッグ・ルーイスンの変容・序論	高橋富雄編『総合研究・文化に おける変容と受容』 (全569頁) (角川書店) (551～569頁)	昭和60年2月
Bernard Malamud : <i>God's Grace</i> をめぐって	「東北アメリカ文学研究」8号 (60～75頁)	昭和60年12月

Ludwig Lewisohnの変容 —シオニズムへの道—	「東北大学教養部紀要」44号 (170～194頁)	昭和60年12月
バーナード・マラマッド：人と作品	「英語青年」132巻6号 (8～10頁)	昭和61年9月
Schwartzと罪の意識—Genesisを中心に	「東北大学教養部紀要」46号 (169～185頁)	昭和61年12月
Jay McInerneyと <i>Bright Lights, Big City</i>	「英文学会誌」第24号 (新潟大学英文学会)(1～16頁)	昭和63年6月
マラマッドの未発表作品のことなど	「英語青年」135巻12号 (10～11頁)	平成2年3月
クライド・エジャートン—ノースカロライナの語り部	「英語青年」138巻3号(14～16頁)	平成4年6月
Henry Roth：60年後の目覚め	「英語青年」140巻5号(26～29頁)	平成6年8月
ユダヤ系アメリカ小説に同化と変容の問題を読む— A・カーン『イックルー—ニューヨーク・ゲッターの物語』	「東北アメリカ文学研究」21号 (59～74頁)	平成10年3月
ユダヤ系作家デルモア・シュウォーツにおける歴史的感覚	阿野文朗編『アメリカ文化のホログラム』(全300頁)(松柏社) (149～169頁)	平成11年10月
アンケートの結果にみる岩手県の姉妹都市交流および国際交流の現状(共著・佐藤智子、黒岩幸子)	「総合政策」2巻2号 (岩手県立大学総合政策学会) (215～243頁)	平成12年11月
ヘンリー・ロスの遺産	国重純二編『アメリカ文学ミレニアム I』(全541頁)(南雲堂) (447～472頁)	平成13年12月
藤沢町とデュアリンガシャー国際友好親善(姉妹都市)交流に関する調査研究(共著・佐藤智子)	「総合政策」4巻1号 (岩手県立大学総合政策学会) (55～73頁)	平成14年11月
南北戦争	竹中興慈他編『アメリカを知る技法』(全215頁) 宝文堂 (146～151頁)	平成15年1月

3. 研究ノート

Report on the Intensive Training Course in English(共著・Yoshiro Otomo)	「東北大学教養部紀要」9号 (198～179頁)	昭和43年12月
『ハイフン付きアメリカニズム』 (鈴木重吉・小川晃一編、共同執筆者 亀井俊介、金関寿夫、片山厚他6名)	木鐸社 (全225頁) (183～193頁)	昭和56年7月

4. 翻 訳

ロバート・E・スピラー 『アメリカ文学研究法―第三の次元』	文理	(全373頁)	昭和50年 5月
ドナルド・バーセルミ「バルーン」、 「タイヤの国」	中央公論社「海」新年特別号	(264～268頁) (292～297頁)	昭和53年 1月
アレン・グットマン 『アメリカのユダヤ系作家たち』	研究社出版	(全386頁)	昭和54年 3月

5. 学術関連寄稿

Philadelphia 便り	「試論」第6集	(158～162頁)	昭和39年 6月
“An American Life”(1963. 8～1964. 7)	「英文学会誌」第12号	(41～50頁)	昭和40年 6月 (新潟大学英文学会)
「マラマッドの新作朗読」	「英語青年」119巻1号	(48頁)	昭和48年 4月
「マラマッド氏訪問」	「英語青年」119巻8号	(53頁)	昭和48年11月
「スピラー著『アメリカ文学研究法』 一師の論文を翻訳して」	新潟日報・昭和50年7月15日		昭和50年 7月
「ヘミングウェイの人生哲学」	「新潟文芸」	(9～11頁)	昭和51年12年
「洋行から海外旅行へ ―日本人にとって外国とは」 「夫婦は、いま―外国文化の衝撃」	放送による東北大学開放講座・ 「日本の中の世界文化」に収録	(71～80頁)	昭和53年 9月
「1980年代のユダヤ系作家の展望」	「東北アメリカ文学研究」4号	(71～78頁)	昭和55年12月
「Chaim Potokを聞く」	「英語青年」129巻3号	(36頁)	昭和58年 6月
「アメリカの学者―Robert E. Spiller」	「日本アメリカ文学会 会報」(XXI)	(23頁と45頁)	昭和58年10月
「マラマッドの死を悼む」	河北新報・昭和61年4月9日		昭和61年 4月
「Bernard Malamud未亡人を訪ねて」	「東北アメリカ文学研究」10号	(81～85頁)	昭和62年 3月
“Tobias Wolff (1945-)”	「英語青年」133巻2号	(16頁)	昭和62年 5月
“Jay McInerney (1955-)”	「英語青年」133巻12号	(27頁)	昭和63年 3月
「Hayden Carruth (1921-)」	「東北アメリカ文学研究」11号	(73～78頁)	昭和63年 3月

岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集 第6号

「Chapel Hillから」	「東北アメリカ文学研究」12号 (76～79頁)	昭和63年3月
「アメリカ南部—南北戦争のかけ」 (6回シリーズ)	河北新報・平成元年10月～11月	平成元年10月 ～11月
「Bernard Malamud 夫人訪問記」	「東北アメリカ文学研究」13号 (78～80頁)	平成2年2月
「見えないユダヤ人」	放送による東北大学開放講座・テ キスト「日本の中の外国風景」に 収録 (43～53頁)	平成2年9月
「The Great Depressionとアメリカ文学」	「東北アメリカ文学研究」14号 (66～71頁)(共著・松井みどり)	平成3年3月
「カタカナ語の泉」	河北新報・平成5年4月 ～平成8年3月 (153語執筆)	平成5年4月 平成8年3月
「戸籍なき国、アメリカ」	放送による東北大学開放講座・テ キスト「アメリカ—その時間と空 間」に収録 (11～22頁)	平成5年9月
「フロンティア・スピリット—昔と今と」	放送による東北大学開放講座・テ キスト「アメリカ—その時間と空 間」に収録 (23～33頁)	平成5年9月
「日本におけるアメリカ研究教育カリキュラムの 紹介I 東北大学」	「東京大学アメリカ研究資料セン ター年報」16号 (110～119頁)	平成6年3月
「アメリカ人の外国人観—ネイティヴィズムのいく つかの相」	「平成5年度特定研究経費研究成 果報告」(東北大学大学院国際文 化研究科) (1～8頁)	平成6年3月
「アメリカ研究事始め」	「アメリカ学会会報」116号(1頁)	平成7年2月
「アメリカにおけるユダヤ人移民とユダヤ教」	「平成6年度特定研究経費研究成 果報告」(東北大学大学院国際文 化研究科) (22～25頁)	平成7年3月
「アメリカ文学と時代」	放送による東北大学開放講座・テ キスト「時代を映すアメリカ文学」 に収録 (1～8頁)	平成7年9月
「民衆詩人の誕生—『草の葉』—」	放送による東北大学開放講座・テ キスト「時代を映すアメリカ文学」 に収録 (31～42頁)	平成7年9月
「ユダヤ移民の同化と変容の問題 —A・カーンの中編小説を中心に—」	東北大学大学院国際文化研究科第 2回公開講座/国際文化基礎講 座・テキスト「言語と文化—異文 化の壁を超えて—」に収録 (59～62頁)	平成7年10月

「東北大学大学院国際文化研究科とアメリカ研究講座」	「アメリカ研究ワークショップ報告書」(アメリカ研究振興会)「アメリカ研究教育プログラムー現状と課題ー」(119～124頁)	平成8年3月
「アメリカ学会第29回年次大会」	東北大学「国際交流タイムズ」(No.14)(14～16頁)	平成8年3月
「アメリカにおける外国人観の変遷ー昔と今とー」	東北大学大学院国際文化研究科第3回公開講座／国際文化基礎講座・テキスト「「外国人」の内と外ーまたは外国人としての自分ー」に収録(1～16頁)	平成8年10月

6. 書 評

浜野成生『ユダヤ系アメリカ人と日本の世紀』(鷹書房)	「東北アメリカ文学研究」5号(72～74頁)	昭和56年12月
講座『英文学史・小説Ⅳ』(大修館書店)	「英語青年」127巻12号(38頁)	昭和57年3月
明石・飯野・田中著『エスニックアメリカー多民族国家における同化の現実』(有斐閣)	「アメリカ学会会報」76号(3頁)	昭和60年2月
井上謙治著『アメリカ読書ノート』(南雲堂)	「英語青年」137巻(35～36頁)	平成3年8月
今村楯夫著『現代アメリカ文学ー青春の軌跡』(研究社出版)	「英語青年」137巻12号(41～42頁)	平成4年3月
David R. Mayer, <i>Door Stoops and Windowsills : Perspective on the American Neighborhood Novel</i> (山口書店)	「アメリカ文学研究」30号(154～160頁)	平成6年2月
大井浩二著『ホワイトシティの幻影ーシカゴ万国博覧会とアメリカ的想像力』(研究社出版)	「英語青年」140巻1号(41～42頁)	平成6年4月
須田 稔著『アフリカ系アメリカ人の思想と文学』(山口書店)	「アメリカ文学研究」32号(101～107頁)	平成8年2月
野村達朗著『ユダヤ移民のニューヨークー移民の世界と労働の世界』(山川出版社)	「アメリカ学会会報」121号(3頁)	平成8年4月
Tomoko Sato, <i>Emily Dickinson's Poems : Bulletins from Immortality</i> (Shinzansha Publishing Co.)	「言語と文化」第2号(149～155頁)	平成12年3月
水原善彦著『トマス・ピンチョンー無政府主義的奇跡の宇宙』	「アメリカ学会会報」145号(4頁)	平成14年4月

7. 随 想 (省略)